

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	ReproMed™ iPSC medium
製品コード	RCRM101
会社名	株式会社リプロセル
住所	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 3-8-11 KDX 新横浜 381ビル 9階
電話番号	045-475-3887
FAX 番号	045-474-1006
メールアドレス	info_jp@reprocell.com
使用用途	ヒト ES/iPS 細胞用培地
使用上の制限	本製品は研究用製品であり、治療、診断目的には使用しないこと。

2. 危険有害性の要約

GHS分類	分類対象外
ラベル要素	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	なし

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区分:混合物

4. 応急処置

吸入した場合	医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹼でやさしく洗うこと。 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断／手当をうけること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当を受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

直ちに医師に連絡すること。

いずれの場合も、医師への受診時には製品又は製品安全データシートを持参する。

5. 火災時の措置

消火剤

一般的な消火剤(水、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類)を用いる。

特有の危険有害性

イオウ酸化物を発生する可能性がある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

容器が熱に晒されているときは、移動させない。

適切な保護具(保護マスク／保護手袋／保護衣／保護眼鏡)を着用する。

消火を行う者の保護

適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用すること。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置

漏えい区域を隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止する。

密閉された場所に立入る前に換気する。

適切な保護具(保護マスク／保護手袋／保護衣／保護眼鏡)を着用する。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

回収・中和

不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。

封じ込め及び浄化方法・機材

危険でなければ漏れを止める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

適切な保護具(保護マスク／保護手袋／保護衣／保護眼鏡)を着用する。

局所排気・全体廃棄

特になし

安全取扱い注意事項

眼、皮膚、または衣類に付けないこと。

飲み込まないこと。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

技術的対策

特になし

混触危険物質

「10. 安定性及び反応性」を参照。

保管条件

容器を密閉して冷蔵(2-8℃)又は、冷凍にて保存すること。

容器包装材料

データなし

8. 暴露防止及び保護措置

適切な保護具	保護マスク／保護手袋／保護衣／保護眼鏡
設備対策	特になし

9. 物理的及び化学的性質

外観

形状	液体
色	橙色透明
臭い	不快臭
pH	約 7.3-7.5
融点・凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール／水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	推奨する保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	特になし
避けるべき条件	特になし
混触危険物質	特になし
危険有害な分解生成物	加熱分解により、イオウ酸化物を発生する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性・刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性	データなし
呼吸器感受性又は皮膚感受性	データなし

生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし

12. 環境衛生情報

生体毒性	データなし
残留性・分解性	生分解性がある。
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

上記方法による処理が出来ない場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に業務委託すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

IATA/ICAO	該当しない
IMO/IMDG	該当しない

国内規制

船舶安全法	該当しない
航空法	該当しない

特別安全対策

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
輸送に関しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令	該当しない
----------	-------

16. そのほかの情報

引用文献及び参考文献	・JIS Z 7250:2010 化学物質等安全データシート(MSDS)－内容及び項目の順序
------------	--

- ・JIS Z 7251:2010 GHS に基づく化学物質等の表示
- ・JIS Z 7252:2009 GHS に基づく化学物質等の分類方法
- ・GHS 対応ラベル及び MSDS の作成マニュアル
- 毒物・劇物のラベル作製者向け— (厚生労働省医薬食品局)

本データシートは、現時点で入手できる資料、情報及びデータに基づいて作成したものであり、物理化学的性質、危険有害性などの記載内容を保証するものではありません。また、注意事項は検査室、研究室における通常の実験操作を前提としたものです。用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用ください。

以上